

## 長者町アートアニュアル実行委員会 活動視察

日 時：平成26年11月8日（土）

場 所：中区錦2丁目

### 【長者町アートアニュアル実行委員会について】

あいちトリエンナーレ2010終了直後、継続的なアートまちづくりを推進するためにまちの有志で結成された任意団体です。発足以後、若手アーティストや団体の制作場所である「長者町スタジオ」や、アーティストの滞在場所である「長者町アーティストインレジデンス」、ミーティングやワークショップ会場として使用できる「長者町プラットホーム」を運営しています。

昨年度のまちづくり活動助成では、まちかどアートとして盆踊り大会の実施、あいちトリエンナーレのイベントで制作され、まちで大切に保存されている山車の運行、これまでの活動をより多くの人達に知ってもらうための展覧会を開催しました。

今年度は、これまで行ってきた活動を継続していくのに加え、3年間の活動で培った、まちとアートの「出会い」「おもてなし」を、まち内外に積極的に発信するための活動を実施します。

### 【活動の様子】

#### ■ 長者町ゑびす祭り

気温もちょうどよい秋晴れの日、長者町アートアニュアル実行委員会が活動し、協力して開催している第14回の長者町ゑびす祭りへ視察にうかがいました。

いつもはビジネスマンや商用車が行き交っている長者町が、今日は長者町通が南北に沿って閉鎖され、道路が歩行者天国と様変わりし、その光景に驚きました。



大勢の人達が長者町通を歩く様子

今年の祭りのテーマ「リロード～にぎわいの道～」に相まって大勢の来訪者と、長者町ならではの繊維問屋らしい衣服などの繊維商品や、アーティスト達がつくったアクセサリや雑貨などの出店が数多く並ぶなか、長者町アートアニュアル実行委員会の方に案内していただきました。



まち“夢”工事部門で制作されたベンチが使用されている様子

途中道路には、昨年度まちづくり活動助成まち“夢”工事部門で制作したベンチが来訪者の休憩場所として活用されており、その下には社会実験として道路を間伐材で覆い歩道を拓げる活動が別の団体で行われており、活動の継続性と広がりがうかがえました。



アーティストトークの様子

長者町アートアニュアルが保存している山車が設置されている会場に着くとそこでは、これまで長者町アートアニュアルに関わってきたアーティストたちのトークが行われていました。山車の制作から関わっているアーティストの KOSUGE1-16 土谷さん、最近長者町に関わり始めた写真家の田代さん、そして当時のあいちトリエンナーレ関係者が、これまでの活動を振り返り、そして今後の長者町におけるアートとまちの関わり方などをお話しされていました。

また、錦二丁目まちづくり協議会の理事からもまちの取組みについてお話をうかがい、長者町から“日本初”を生み出し、各地に発信していきたいと熱い思いを語ってくれました。



錦二丁目まちづくり協議会の滝さんと  
長者町アートアニュアルの古谷さん



～ばやし感想～

初めて長者町の山車を拝見しました。今まで見てきた山車と比べると確かに木色が新しさを感じさせます。長者町には多くの熱い気持ちを持っている人達が関わっていることが分かり、これから山車や祭りなどのまちの様々な活動におけるアートとまちの魅力を、どのように伝え、広がっていくのが楽しみです。



～ミルクの感想～

長者町アートアニュアルをはじめ、本当にいろいろな分野のいろいろな人たちが、長者町のことを「大好き」で一生懸命になっていると感じました。アーティストトークは聞いてみればすごい話を語っていて、集まってきている人たちも人知れず個性のある人たちが集まり、ここから何かが生まれてくるエネルギーみたいなものを感じました。